

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築と構造						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/必修科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)						
担当者	中山 直樹						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の構成を体系的に記述できる。(A6,B1)</li> <li>・建築物に作用する力について理解し記述できる。(A6,B1)</li> <li>・木構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造の特質と各部名称を記述できる。(A6,B1)</li> <li>・基本的な基礎形式について記述できる。(A6,B1)</li> </ul>						
日程と内容	<p>9/15 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法  9/26 建築構造のあらまし：成り立ち、歴史的発展、分類  9/29 建築物にはたらく力、関連する法律など  10/ 6 木構造の特徴と構造形式、木材、木材の接合  10/13 木構造の軸組について  10/20 木構造の小屋組、床組、その他  10/27 木構造の補足講義と演習(1)  11/10 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式、使用材料  11/17 鉄筋コンクリート構造の基礎(建築物基礎の総括)  11/24 鉄筋コンクリート構造の主体構造、その他  12/ 1 鉄筋コンクリート構造の補足講義と演習(2)  12/ 8 鋼構造の特徴と構造形式、鋼材、鋼材の接合  12/15 鋼構造の骨組および各部材について、その他  12/22 鋼構造の補足講義と演習(3)  1/12 定期試験(試験範囲は第1回～14回までの講義・演習内容の全て)  1/26 総まとめ</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	-			-
	臨時試験	-	部外評価	-			-
	報告書・レポート	-	プレゼンテーション	-			-
	課題	-		-			-
	演習	30%	計	-			100%
授業到達目標の達成度	履修者90名中で合格者87名の評価点数は80点以上が48名と半数強であり、高得点者には前向きな学習意欲が覗えたのでまずまずの達成度だと思われる。						
反省点	評価得点の低い学生の建築学に対する目的意識が低いように思われる、ゆえにその意識の向上を図る必要がある。						
来年度の計画	担当を外れるので特になし						
授業評価アンケートに対するコメント	例年いいかげんな記入だと感じるものもあるが、真摯な意見については講義成果向上の一助としたい。						
履修登録者数	90名	定期試験 受験者数	87名	合格者数	87名	合格率	100%